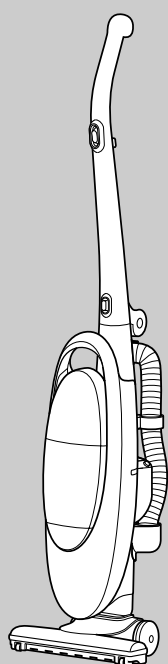
取扱説明書

日立掃除機
PV-SH1

保証書付き
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。

もくじ

このたびは日立掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- **この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。**
- **ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。**

お読みになったあとは、大切に保存してください。

長くお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください

- サイクロン式クリーナーは、紙パックがいらない、吸込力が持続するという特長をもっていますが、性能を保つために、ダストケース、フィルターのお手入れは必要です。
吸込力の低下を防止するため、以下のことを必ずお守りください。

●大きなごみを吸わせないでください。
あめ玉の包みやティッシュペーパーなどの大きなごみを吸わせた場合、ダストケース内に詰まったり、フィルターにはり付いて、フィルターの目詰まりをおこす場合があります。
大きなごみがあるときは、取り除いてからお掃除してください。

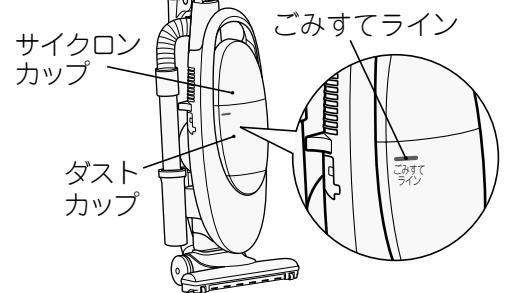
●一気に多量のごみを吸わせないでください。
多量のごみを一気に吸わせると、フィルターの目詰まりをおこす場合があります。多量のごみを吸わせるときは、少しずつ吸わせてください。

●細かい粉状のごみや、細かい綿ごみを集中して吸わせないでください。
小麦粉などの細かい粉状のごみや、エアコンのフィルターなどに付着した細かい綿ごみを多量に吸わせると、フィルターが目詰まりして吸込力が低下し、保護装置が働く場合があります。

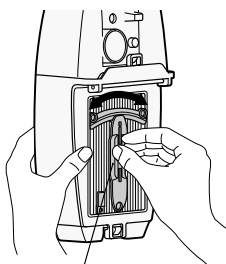
●細長いごみを吸わせた場合
長いひもや髪の毛など細長いごみを吸わせた場合、内筒フィルターに巻きついたり、目詰まりして吸引力が低下します。内筒フィルターをお手入れしてください。

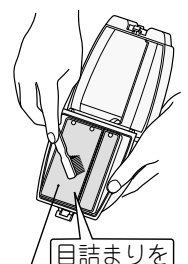
- ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。取り付けないで運転した場合、モーターの非常に大きな音がします。

<ごみ捨ての目安>

- **ダストカップのごみは「ごみすてライン」を越える前に捨ててください。
そのまま運転を続けると、フィルターが目詰まりして吸込力が低下します。
こまめにごみを捨てることをおすすめします。
ごみの捨てかたは** ☞10

- ごみを捨てる際は、運転スイッチを「切」の状態にし、電源プラグを抜いてください。

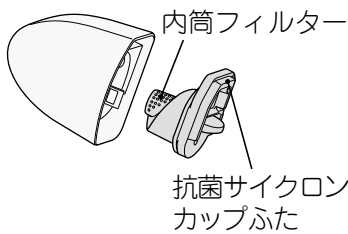
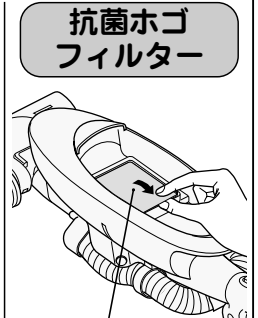
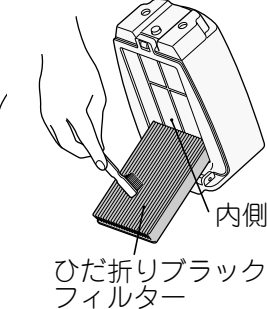
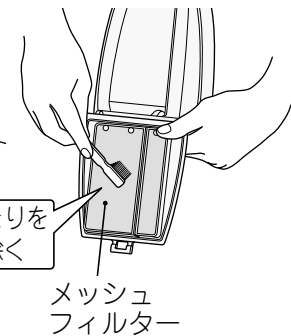
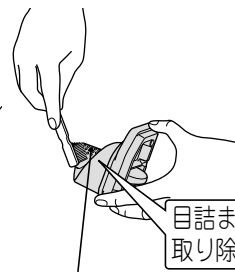
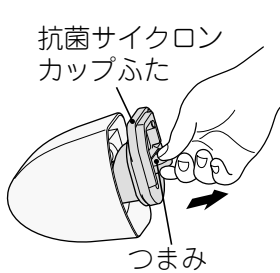
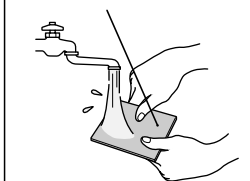
<ごみ捨て時ごとのお手入れ>

- ごみ捨て前に、**チリおとしレバー**を目安として10往復程度動かしてください。 ☞10

- **ひだ折りブラックフィルター**の内側にたまったごみも忘れずに捨ててください。 ☞10

- **メッシュフィルター**に付着しているごみや細かいほこりなどを、使い古しの歯ブラシなどで取り除いてください。 ☞10

「吸込力が弱くなった」、「運転音が高くなった」と感じたときは、ごみ捨て時ごとのお手入れ後、内筒フィルター・ひだ折りブラックフィルター・抗菌ホゴフィルターなどの各フィルターをお手入れしてください。☞11

<「吸込力が弱くなった」「運転音が高くなった」とき>

● **ごみ捨て時ごとのお手入れ後、ダストケースの各フィルターに付着しているごみを使い古しの歯ブラシや、抗菌お手入れブラシ（別売り☞15）などで取り除いてください。**☞11

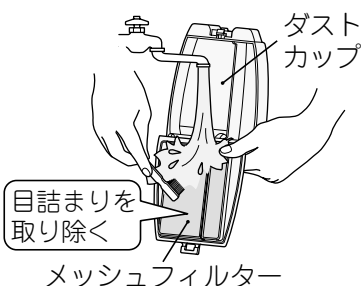
お願い ●吸込力を持続させるために、月一度を目安にお手入れしてください。
お手入れの目安はごみの種類や使用頻度により異なります。

内筒フィルター　**メッシュフィルター**　**ひだ折りブラックフィルター**

●ひだを広げて奥にたまったごみも取り除いてください。

抗菌ホゴフィルター

●抗菌ホゴフィルターを水で軽くもみ洗いし、たたいて水気を切り、十分に自然乾燥させてください。

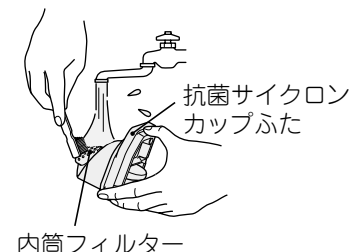
ご注意 ●**「抗菌ホゴフィルター」はモーターの保護を兼ねているため、必ず取り付けてください。**

<「お手入れしても吸込力が回復しない」、「汚れが気になる」とき>

● **各フィルターを使い古しの歯ブラシや、抗菌お手入れブラシ（別売り☞15）などで軽くこすりながら水洗いしてください。十分に自然乾燥させてから取り付けてお使いください。**☞11

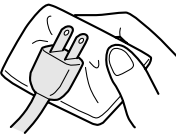
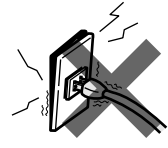
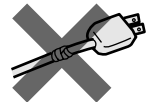
メッシュフィルター
ダストカップ

ひだ折りブラックフィルター

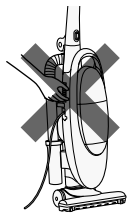
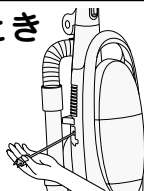
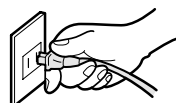
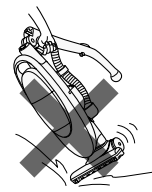
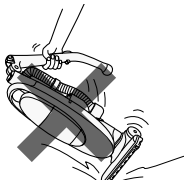
●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

内筒フィルター

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しない

- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は販売店、またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

- 他の器具と併用して定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

電源プラグを抜く

お手入れ・点検の際は、電源プラグを抜く

- 感電やけがをすることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

- 感電やけがをすることがあります。

禁止

灯油、ガソリン、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない

- 火災や爆発の原因になります。

接触禁止

エアーヘッドの回転ブラシには触れない

- 手などをけがすることがあります。
- 特にお子さまにはご注意ください。

禁止

電源コードを回転ブラシに巻き込まない

- 電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

水洗いや、水まわり・風呂場などの湿気の多いところでの使用は絶対にしない

- 感電・発火・異常発熱の原因になります。

⚠ 警　告

清掃

電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふきとる

- プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。

差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 注　意

電源プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

- 断線して、感電・ショート・発火することがあります。

禁止

排気口をふさがない

- 火災の原因になります。

電源プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ

- 電源プラグが当たってけがをすることがあります。

禁止

吸込口や排気口をふさいで長時間運転しない

- 過熱による本体の変形・発火の原因になります。

禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない

- 爆発や火災の原因になります。

電源プラグを持つ

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない

- 本体の変形によるショート・発火の原因になります。

禁止

ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたりしない　また、ホースを持って本体を吊り下げない

- 本体が落下してけがをしたり、床を傷つけることがあります。

禁止

たたんだ状態の可動ハンドルを持って運ばない

- 本体が回転・落下して、けがをしたり、床面を傷つけることがあります。

禁止

エアーヘッドと本体の間や、可動ハンドルと本体の間に手を入れない

- 手などをけがすることがあります。
- 特に小さなお子さまにはご注意ください。

各部のなまえと準備

グリップ

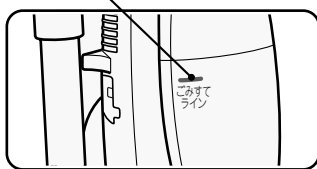
本体ハンドル
● 本体を持ち運ぶときにつかいます。

運転スイッチ

（切）
モーターが止まります
（入）
モーターが回ります
● 運転するときは、•印の方向を押します。
● 電源プラグを差し込むときは、必ず(切)の状態にしてください。

ダストケース

ごみすてライン
☞10

ごみすて
ライン

ダストケース取り外しボタン
● 本体から取り外すときに押します。

サイクロンカップ
（抗菌サイクロンカップ）

サイクロンカップボタン

集じん口

ひだ折りブラックフィルター

チリおとしレバー

ダストカップ
（抗菌ダストカップ）

ひだ折りブラックフィルターつまみ

ごみ捨てボタン

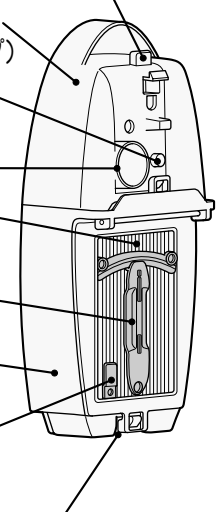
可動ハンドル
カチッ
● 「カチッ」と音がするまでゆっくり回してのばします。

ハンドルロックボタン
● 可動ハンドルをたたむときは、ハンドルロックボタンを押しながら可動ハンドルをゆっくり回します。

コード巻き取りボタン

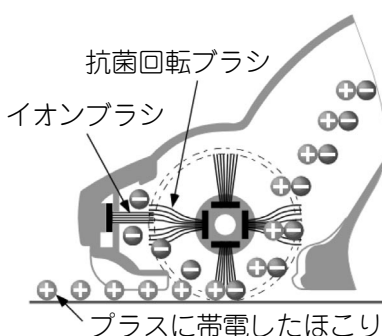
● 電源プラグを持って、コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。跳ね上がりによるけが、家具への傷つきを防ぐためです。

電源プラグを持つ

カチッ

エアーヘッド
（抗菌パワフルイオンエアーヘッド）

回転ブラシ
（抗菌回転ブラシ）

イオンブラシと抗菌回転ブラシのはたらき（抗菌パワフルイオンエアーヘッドについて）

抗菌パワフルイオンエアーヘッドに内蔵したイオンブラシと抗菌回転ブラシの摩擦によりマイナスイオンを発生させ、プラスに帯電したほこりを中和して取りやすくします。

また、抗菌回転ブラシでじゅうたんのごみを強力にかき上げ、マエ・ヨコ・ナナメ3方取り構造で、お部屋の隅々や壁際のごみもしっかり吸い取ります。

● じゅうたんなどのお掃除の場合には、力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。
（抗菌回転ブラシの回転で効果的にごみをかき上げるためです）

下図の部品があることを確認してください。

（のあとの数字は主な説明のあるページです）

ホースフック

ホース
（ロング伸縮
ホース）

電源プラグ

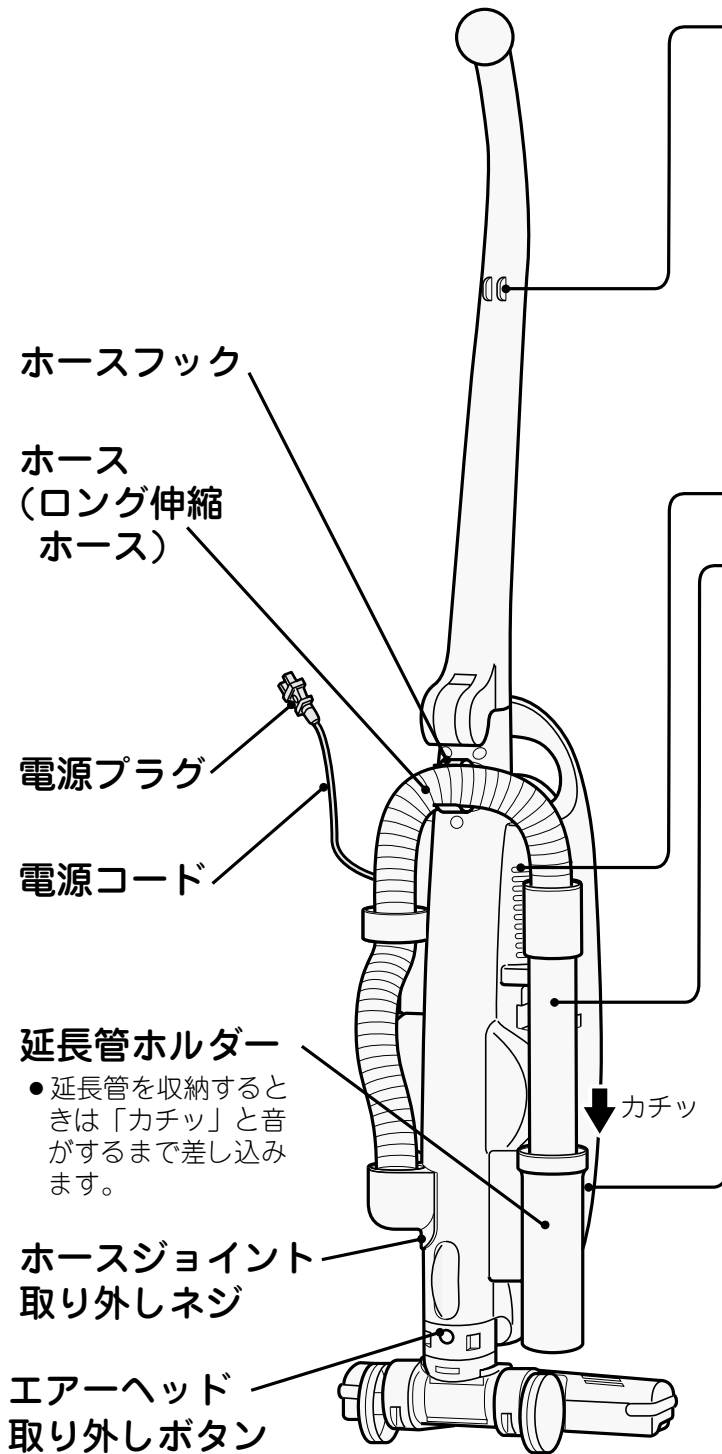
電源コード

延長管ホルダー

- 延長管を収納するときは「カチッ」と音がするまで差し込みます。

カチッ

ホースジョイント
取り外しネジ

エアーヘッド
取り外しボタン

コードフック

- お掃除のとき、電源コードが足元にまとわりつくのを防ぎます。

コード
フック

ご注意

- コードフックから電源コードを外す場合は、傷がつかないよう、注意して外してください。

排気口

延長管(サッと伸縮パイプ)

スライドつまみ

クルッと切替えブラシ
回転させてハケブラシとしても使えます

クルッ

モータ保護用吸気口

ご注意

- 運転中にモータ保護用吸気口をふさがないでください。

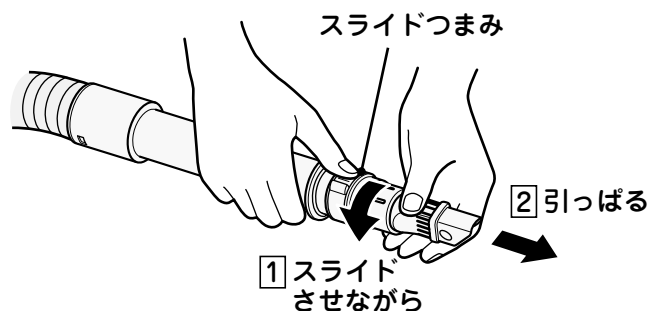
モータ保護用
吸気口

延長管の伸ばしかた（縮めかた）

① スライドつまみを矢印の方向へスライドさせながら、延長管先端部を引っぱる

ご注意 ●「カチッ」と音がする位置まで確実に伸ばしてください。

② 縮めるときは、スライドつまみをスライドさせながら、延長管先端部を持って押し込んでください

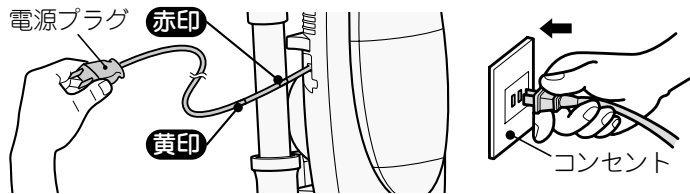
- 調節は3段階です。

操作のしかた

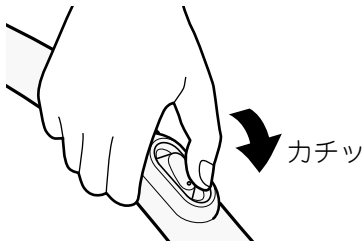
お掃除のしかた（エアーヘッドを使ったお掃除）

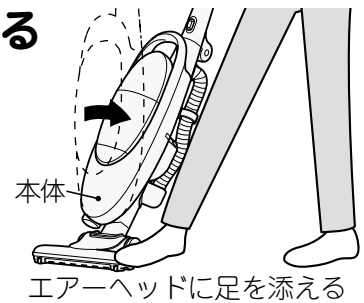
1 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注　意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

ご注意
- 電源コードは赤印以上引き出さないでください。故障の原因になります。
- お掃除中電源コードを無理に引っぱると、断線の原因になります。

2 運転スイッチを押す

3 本体を傾ける

- 本体を立てて運転すると、シューと音がしますが異常ではありません。

4 ゆか面の種類に応じてエアーヘッドを動かす

じゅうたん

前後にエアーヘッドを動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。

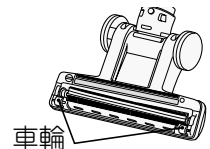
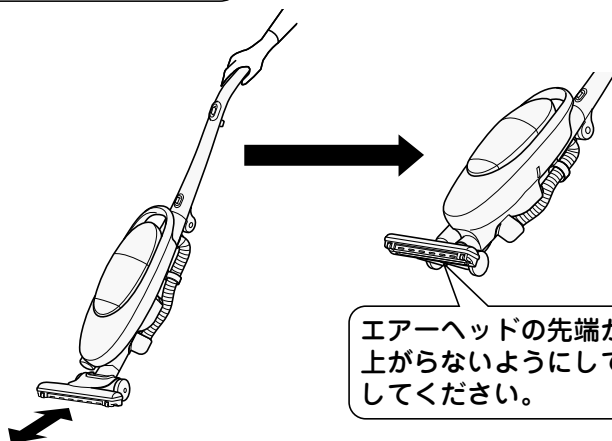
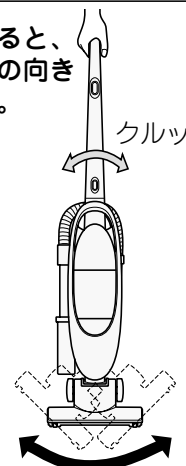
じゅうたんの毛がたくさん取れる場合
初めてのお掃除でじゅうたんのあそび毛がたくさん取れるためで、ご使用に伴い徐々に少なくなります。

たたみ

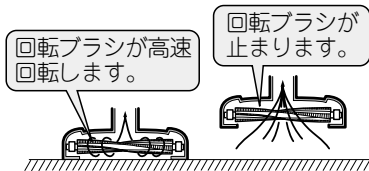
たたみの目にそって。たたみの傷つき防止になります。

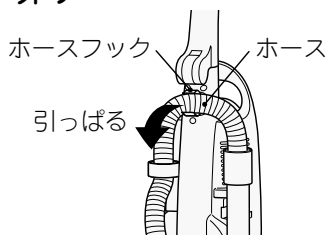
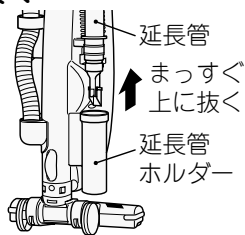
ゆか

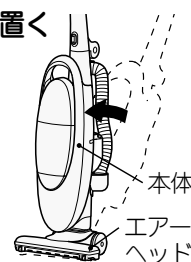
木の合わせ目にそって。ゆかの傷つき防止になります。

ご注意
- ひのきなどのやわらかいゆかの場合には、エアーヘッドをゆかに強く押しつけないでください。ゆかの傷つきを防ぐためです。
- 車輪が磨耗していると、ゆかを傷つけるおそれがあります。磨耗しているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

エアーヘッドの動きについて

回転ブラシの持ち上げ停止機能について

エアーヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシは止まります。（ゆっくり回る場合があります。）

ご注意
- じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回りにくくなることがあります。
- 薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。
- 回転ブラシはゆか・たたみ上でも回転します。
- フィルターが目詰まりし、吸込力が低下した場合、回転ブラシが回らないことがあります。各フィルターのお手入れをしてください。☞11

クルッと切替えブラシを使ったお掃除

1 ホースフックからホースを外す

2 延長管ホルダーから延長管を抜く

3 本体を持ち上げずにゆかに垂直に立てて置く

ご注意
- 本体を傾けたままではクルッと切替えブラシの吸引力は低下します。

4 お掃除する場所に応じて延長管を調節する

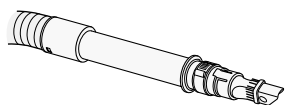
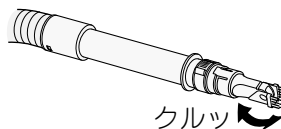
そのままの長さで
・机や棚の上などのお掃除

延長管を伸ばして
- 延長管の伸ばしかたは ☞ 7

・すき間などのお掃除

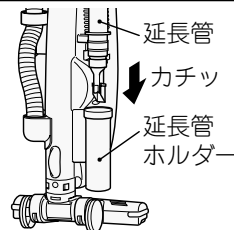
・天井やエアコンのお掃除

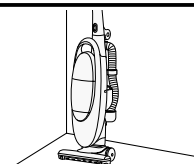
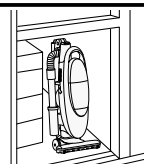
ご注意 ●グリップや本体ハンドルを手でささえてください。本体の転倒を防ぐためです。

すき間用兼サッシ用吸口として

ハケブラシとして

ご注意
- ピアノなど特にやわらかい場所にはハケブラシを押しつけないでください。傷つきを防ぐためです。

5 クルッと切替えブラシでのお掃除が終わったら、延長管を縮め、延長管ホルダーに「カチッ」と音がするまで差し込む。

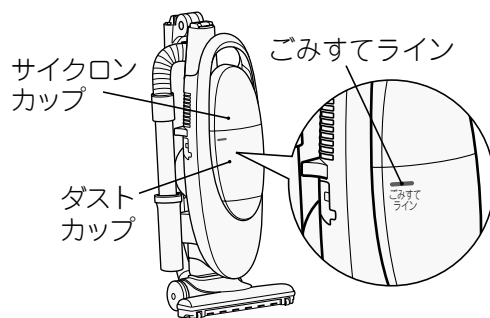
- 延長管の縮めかたは ☞ 7

ご注意 ●延長管が延長管ホルダーに確実に収納されていないと、エアーヘッドからの吸引力は低下します。

あとかたづけ

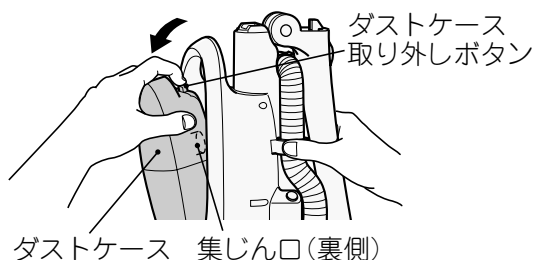
電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタン（☞6）を押しながら、電源コードを巻き取り、部屋のすみなど、倒れにくいところへ保管する

可動ハンドルを折りたたむと、押入れなどのスペースにすっきり収納することもできます。

ごみがたまったら

●ダストカップのごみは「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。そのまま運転を続けるとフィルターが目詰まりして吸込力が低下します。
こまめにごみを捨てることをおすすめします。

ご注意 ●ごみを捨てる際は、運転スイッチを「切」の状態にし、電源プラグを抜いてください。

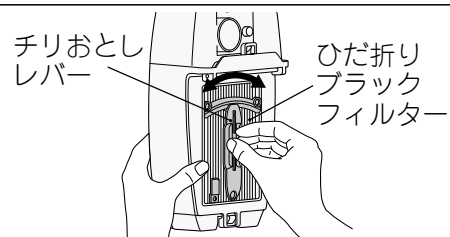
サイクロンカップ
ダストカップ
ごみすてライン

ごみの捨てかた

1 **ダストケース取り外しボタンを押しながら、本体を押さえてダストケースを取り外す**

ご注意
- 運転中はダストケースを取り外さないでください。
- 集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

2 **ひだ折りブラックフィルターのお手入れをする**

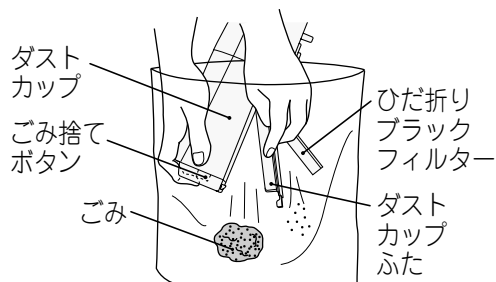
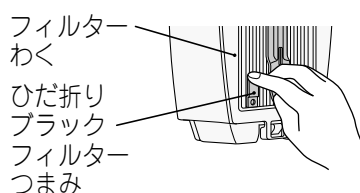
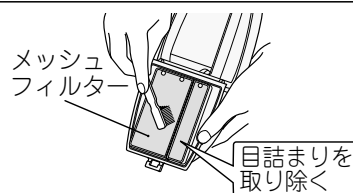
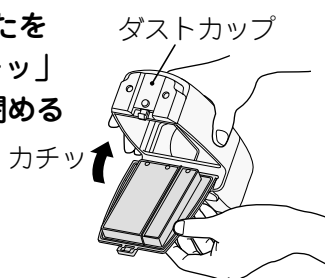
- チリ落としレバーを目安として10往復程度動かしてください。

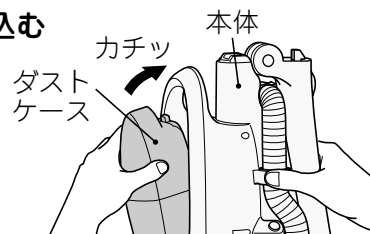
お願い ●吸込力が弱くなっている場合は、さらに数回動かしてください。

チリおとし
レバー
ひだ折り
ブラック
フィルター

3 **ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ**

①ひだ折りブラックフィルターつまみを引いて、ひだ折りブラックフィルターを開き、フィルターわくにたまったごみを捨てる。

②ごみ捨てボタンを押して、ダストカップふたを開けてごみを捨てる

- ごみが出にくい場合は、ダストカップの側面をたたくなどして振動を加えてください。
- ダストカップふたはごみ捨てボタンを押さないと開けられません。ごみを捨てるときは必ずごみ捨てボタンを押してください。
- ダストカップふたには無理な力を加えないでください。外れることがあります。
- ガラスの破片や虫ピンなどの鋭利な物を誤って吸い込んだときは、直接手を触れないでごみを捨ててください。けがをするおそれがあります。

4 **メッシュフィルターに付着しているごみは、使い古しの歯ブラシや、抗菌お手入れブラシ（別売り ☞15）などで取り除く**

5 **ダストカップふたを手で戻し、「カチッ」と音がするまで閉める**

6 **ダストケースを本体に「カチッ」と音がするまで押し込む**

ご注意
- 本体で指をはさまないよう注意してください。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
●感電やけがをすることがあります。

「吸込力が弱くなった」「運転音が高くなった」とき

1 ダストケースを取り外し、ごみを捨て、メッシュフィルターに付着したごみを取り除く

お願い ●「ごみがたまったら」に記載のフィルターのお手入れをしてください。☞10

2 内筒フィルターおよびひだ折りブラックフィルター（裏面）に付着したごみを取り除く

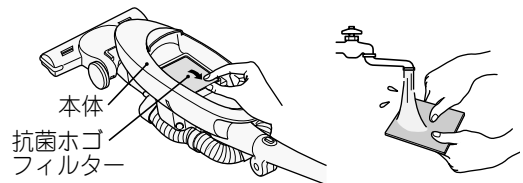
内筒フィルター

① サイクロンカップボタンを押しながら、ダストケースを開く
② 抗菌サイクロンカップふたのつまみを引っぱり、抗菌サイクロンカップふたを取り外す
③ 内筒フィルターの目詰まりを使い古しの歯ブラシなどで取り除く

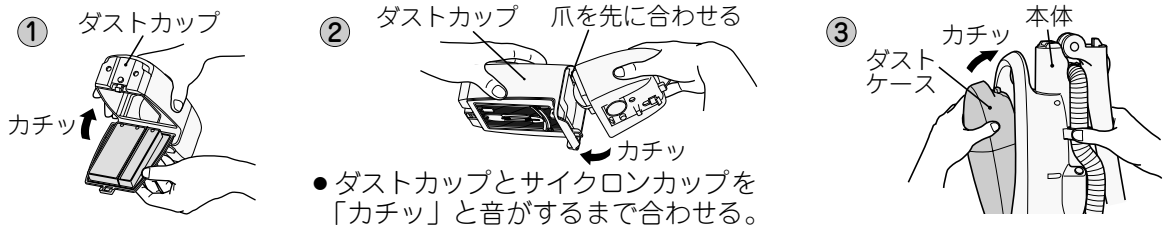
ひだ折りブラックフィルター

④ ひだ折りブラックフィルターつまみを引いて、ひだ折りブラックフィルターを開く
⑤ ひだ折りブラックフィルターの裏面に付着したごみを使い古しの歯ブラシなどで取り除く

3 本体の抗菌ホゴフィルターを洗う

① 抗菌ホゴフィルターを取り出す
② 抗菌ホゴフィルターを水で軽くもみ洗いし、たたいて水気を切り、十分に自然乾燥させる
③ 抗菌ホゴフィルターを元どおり本体に取り付ける

ご注意 ●「抗菌ホゴフィルター」はモーターの保護を兼ねているため、必ず取り付けてご使用ください。

4 ダストケースを元どおり本体に取り付ける ☞10

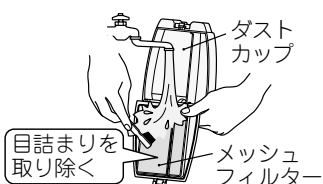
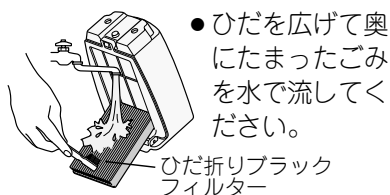
●ダストカップとサイクロンカップを「カチッ」と音がするまで合わせる。

ご注意 ●各フィルターは洗濯機で洗ったり、ヘアードライヤーで乾燥させないでください。

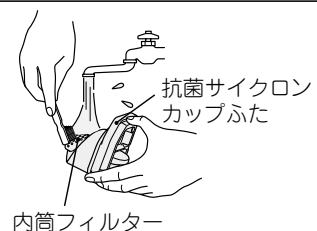
「お手入れしても吸込力が回復しない」、「汚れが気になる」とき

各フィルターを水洗いしてください。

メッシュフィルター・ひだ折りブラックフィルター・内筒フィルターを使い古しの歯ブラシや、抗菌お手入れブラシ（別売り ☞15）などで軽くこすりながら水洗いし、十分に自然乾燥させてから取り付けてお使いください。

メッシュフィルター
ダストカップ

ひだ折りブラックフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

内筒フィルター

抗菌サイクロンカップふた
内筒フィルター

お願い
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●毛のかたいブラシで洗ったり、メッシュフィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●**洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因になります。**

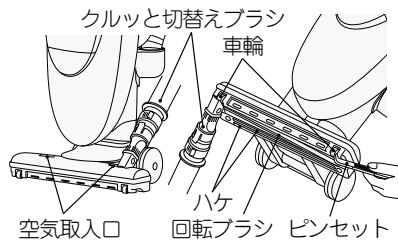
お手入れ(続き)

⚠ 警告

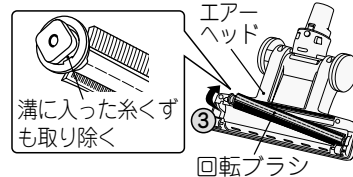
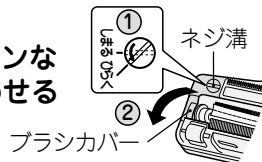
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
●感電やけがをすることがあります。

エアーヘッド(水洗いできるのは回転ブラシのみです)

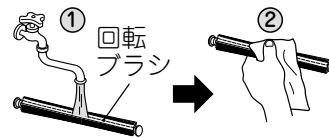
1 クルッと切替えブラシでごみを吸い取る

● 空気取入口、回転ブラシ、ハケ(赤色、緑色)、車輪にごみが付着していると、吸込力低下の原因になります。そのようなときは、エアーヘッドを本体に接続したまま、クルッと切替えブラシでごみを吸い取ってください。
● 車輪の軸に絡みついた糸くずなどは、つまようじやピンセットなどで取り除いてください。

ご注意
● 車輪が磨耗していると、ゆかを傷つけるおそれがあります。車輪が磨耗しているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

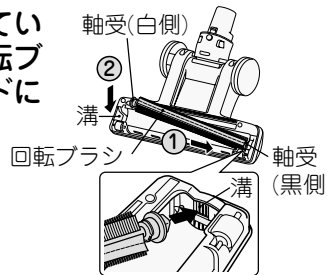
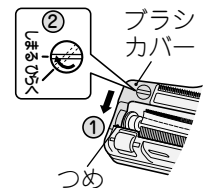
2 回転ブラシを取り外して、ごみを取り除く

① エアーヘッドを裏返して、コインなどでネジ溝を「ひらく」に合わせる
② ブラシカバーを外す
③ 回転ブラシを取り外す

● 回転ブラシに絡みついた糸くずなどは、ハサミで取り除いてください。

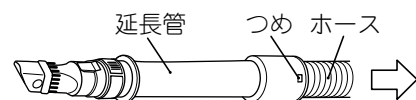
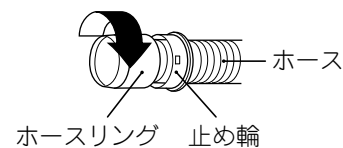
3 回転ブラシを水洗いする

① 汚れがひどい場合には、回転ブラシを水洗いする
② 回転ブラシを乾いた布ではさむようにして水気を切る
③ 回転ブラシを陰干しにして、十分に乾燥させる

ご注意
● ドライヤー、暖房機具などで乾燥させないでください。

4 回転ブラシが十分に乾燥していることを確認してから、回転ブラシを元どおりエアーヘッドに取り付ける

● エアーヘッドを裏返して、
① 軸受(黒側)を入れてから、
② 軸受(白側)を溝に入れます。
● 軸受に注油しないでください。

5
① ブラシカバーのつめを引っ掛けて閉める
② コインなどでネジ溝を「しまる」に合わせる

ホース、延長管(ホースの外しかたと取り付けかた)

万一、ホース、延長管にごみが詰まった場合には、次の手順でお手入れしてください。

1 つめ(両側2個所)をドライバーなどで片方ずつ押しながら、ホースを引き抜く

2 ホースリングを矢印の方向に回して、ホースから外す

3 ホース、延長管に詰まったごみなどを取り除く

● 本体側はドライバーなどでホースジョイント取り外しネジを外し、ホースジョイント部に詰まったごみなどを取り除いてください。

4 外す手順と逆の手順で、ホースを取り付ける

● ホースに止め輪を挿入し、ホースリングを回しながらホースにしっかりとねじ込んでください。

本体・付属品

水を含ませた、やわらかい布をよく絞ってからふく

● ベンジン、シンナー、中性洗剤などは、変色、変形などの原因となりますので、使用しないでください。

故障かなと思ったら

こんなときは	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い（エアーヘッドで床などの掃除時）	● ダストカップのごみがいっぱいになっていませんか。	「ごみがたまったら」☞ 10をご覧になり、ごみを捨ててください。
	● フィルターにごみが付着していませんか。	「お手入れ」☞ 11をご覧になり、メッシュフィルター、ひだ折りブラックフィルター、内筒フィルターなどの各フィルターをお手入れしてください。
	● エアーヘッドにごみが詰まっていませんか。	「お手入れ」☞ 12をご覧になり、ごみを取り除いてください。
	● モータ保護用吸気口から風を吸い込む大きな音がしていませんか。	フィルター目詰まりによりモータ保護用弁が動作しているためで異常ではありません。「お手入れ」☞ 11をご覧になり、各フィルターをお手入れしてください。
	● エアーヘッドを本体から傾けていますか。	エアーヘッドを本体から傾けてください。☞ 8
吸込力が弱い（クルッと切替えブラシですき間などの掃除時）	● 延長管、ホースにごみが詰まっていませんか。	「お手入れ」☞ 12をご覧になり、ごみを取り除いてください。
	● エアーヘッドが下がっていませんか。本体を傾けて使用していませんか。	エアーヘッドを起こしてください。本体を立ててください。☞ 9
ごみが少ないのに吸引力が弱い	● フィルターにごみが付着していませんか。	「お手入れ」☞ 11をご覧になり、メッシュフィルター、ひだ折りブラックフィルター、内筒フィルターなどの各フィルターをお手入れしてください。
モーターが回らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	● 保護装置が働いて運転が停止していませんか。	「保護装置について」☞ 13をご覧になり、処置してください。
エアーヘッドの回転ブラシが回らない、または回りにくい	● 回転ブラシ、軸受にごみなどが絡みついていませんか。	「お手入れ」☞ 12をご覧になり、ごみなどを取り除いてください。
	● 延長管ホルダーに延長管が確実に差し込まれていますか。	延長管を延長管ホルダーに確実に差し込んでください。☞ 9
	● ダストケース、各フィルターにごみが詰まっていませんか。	「ごみがたまったら」☞ 10をご覧になり、ごみを取り除いてください。
	● エアーヘッドがゆか面から浮いていませんか。	ゆか面から離すと回転ブラシは止まりますので異常ではありません。☞ 9
排気や本体があたたかくなる（特に夏場）	● 空気の流れでモーターを冷却しているためで、多少あたたかくなるのは異常ではありません。	
電源コードが全部入らない、または引き出せない	● 電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。	
電源コード引き出し口などから風が出る	● 空気の流れで電気部品を冷却しているためで、異常ではありません。	

保護装置について

ダストカップのごみがいっぱいであったり、フィルターにごみが付着したままお使いになると、モーターの過熱防止のため保護装置が働いて、本体の運転が自動的に停止することがあります。

〈処置のしかた〉 ● 保護装置が働いたときは、

① 電源プラグを抜く
② ダストカップのごみを捨て（☞ 10）、各フィルターをお手入れ（☞ 11）する
③ ホース、延長管、エアーヘッドなどに詰まったごみや、排気口などをふさいでいるものを取り除く
④ 約1時間待って使用する

アフターサービスと保証について

使用中に異常が生じたときは

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かなと思ったら」☞13の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品（抗菌パワフルイオンエアーヘッド）もごいっしょにお持ちください。

アフターサービスをお申しつけのときお知らせください。

1 形名－PV-SH1

2 症状－できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

転居される場合

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

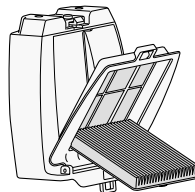
★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常があるとき。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
（受付時間）365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
（受付時間）9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2005年7月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

● 抗菌お手入れブラシ

サービスパーツ CV-SG9-026
とご指定ください。
希望小売価格 315円(税抜 300円)

● 抗菌ホゴフィルター

サービスパーツ PV-SH1-001
とご指定ください。
希望小売価格 420円(税抜 400円)

● ダストカップセット
（メッシュフィルター、ひだ折りブラックフィルターを含む）

サービスパーツ PV-SH1-002
とご指定ください。
希望小売価格 3,360円(税抜 3,200円)

● 上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称
抗菌効果	抗菌パワフルイオンエアーヘッド	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	刷毛
	抗菌ホゴフィルター	(財)日本紡績検査協会	滴下法	繊維に付着	不織布
	抗菌サイクロンカップ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌ダストカップ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌サイクロンカップふた	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック

仕様

項目	仕様	項目	仕様
電源	100V　50-60Hz共用	質量	3.7kg（標準付属品を含む）
消費電力	700W	本体寸法	(使用時) 長さ220mm×幅250mm×高さ1070mm (収納時) 長さ295mm×幅250mm×高さ570mm
吸込仕事率	170W		
運転音	65dB		
集じん容積	0.8L	標準付属品	抗菌パワフルイオンエアーヘッド (エアーヘッド)……………………1個
コードの長さ	5m		

日立掃除機 保証書　持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

形名	PV-SH1	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 お名前　　　　様 電話　（　　）		
※販売店	ご住所 お名前　　　　様 電話　（　　）		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口(☞14)にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞14)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは､｢アフターサービスと保証について｣(☞14)をご覧ください。

修理メモ

日立 ホーム＆ライフソリューション株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111